

2. 流域治水に関する 取組事例の共有

淀川（大阪府域）分会

大阪府

| | |
|------|---|
| 取組項目 | コミュニティタイムライン作成支援講習会 |
| 主な内容 | 行政の防災担当職員や地域住民を対象に、コミュニティタイムライン作成に関するノウハウ習得を目的とした講習会を開催。大阪管区气象台や近畿地方整備局から防災気象情報や水災害に関する説明を実施した後、各警戒レベル毎にとるべき行動を各自で検討し、実際のコミュニティタイムラインの作成方法を実習により学んでいただいた。 |

■ 地域の災害対応力の向上に向けて

※講習会でカバー

① 動機づけ

・災害リスクや実態を知り、対応の重要性を認識する。

② 理解

・タイムライン作成をとおり、必要な対応(共助)を理解する。

③ 習熟・知識化

・地区での話し合いや訓練を通して、習熟と知識化を目指す。

④ 動機づけ

・地区で知識スキルと組織対応力を蓄積する。
⇒①へ

● 第一部 防災に必要な知識を得る

○ 気象情報に関する説明
・大阪管区气象台より

○ 水災害に関する説明
・近畿地方整備局水災害予報センターより



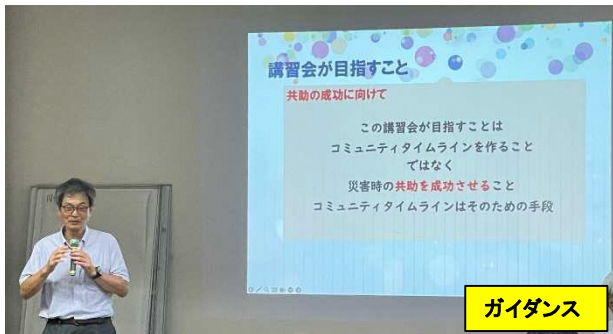
● 第二部 災害の実相に触れる

○ 災害派遣(能登)経験者のお話
・大阪府岸和田土木事務所より



● 第三部 演習 コミュニティタイムラインを作る

・各警戒レベルごとに行うべき行動をグループで確認・ポストイットに書き出し、タイムラインに記載すべき内容を、全員で共有した上で、講習会の中でタイムラインを一事例作成した。



ガイダンス



検討内容の発表・タイムライン作成



グループワーク状況

淀川（京都府域）分会

京都府
京都市
久御山町

流域治水に係るリーフレットの作成

- ◆立命館大学と連携し、一般の方向けの流域治水に関するリーフレットを作成。
- ◆配布についてHPで周知するとともに、府主催のイベントなどで配布し、流域治水の自分事化を促すツールとして活用。

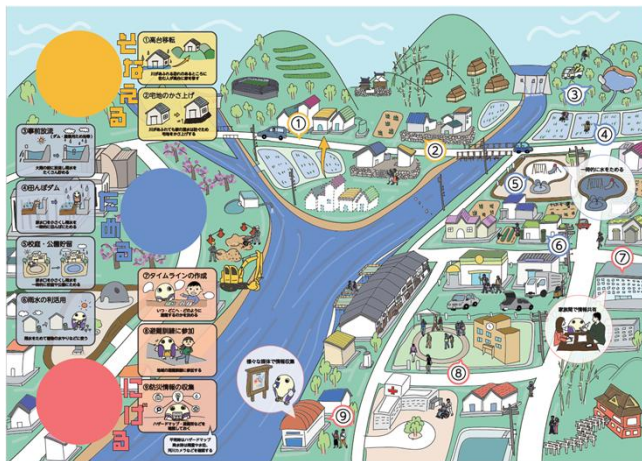


図-1 リーフレット(上:外側、下:内側)

- 立命館大学 建築光環境デザイン・設備技術研究室と連携。
- 関係者へのアンケート調査により、効果的で親近感があり、かつ受け入れやすいリーフレットの形状や表現を検討し、その結果をもとに流域治水の啓発資料を作成。

【特徴】

- ・アンケート結果を踏まえ、以下のとおり設定
形状:四角 ベースの色:緑 フォント:新丸ゴシック、Bold
- ・誘目性を高めるために巻三折した際に中のデザインが見える窓を設けた。
- ・実在する施設、観光地をイラストに盛り込み京都らしさを表現。

浸水対策事業（烏丸丸太町幹線）

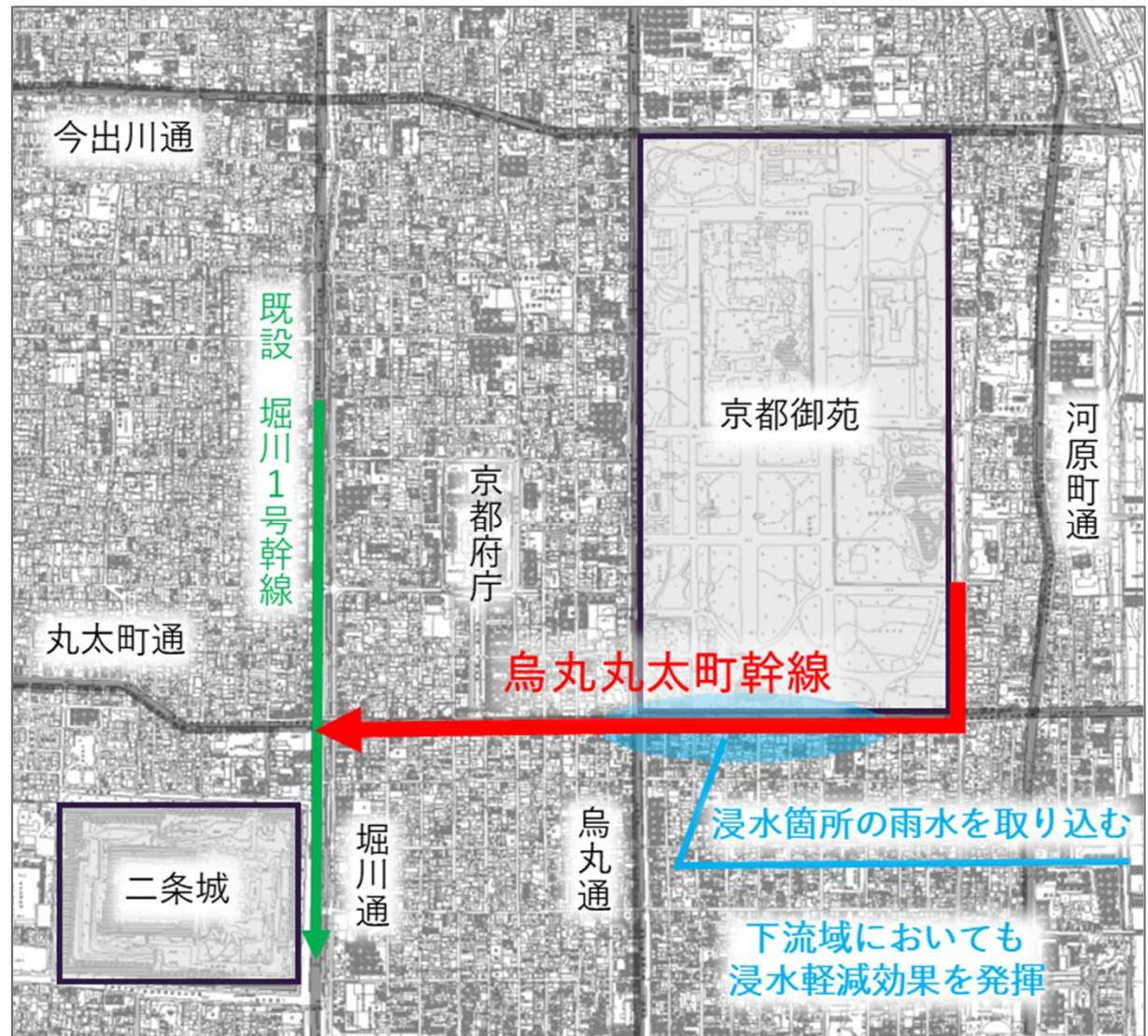
市内中心部の浸水対策として、雨水を「ためる」機能を備えた雨水幹線を整備

概要

口 径：2,400 mm
延 長：1,700 m
貯 留 量：7,700 m³
事業期間：令和2～7年度
(令和7年11月供用開始)
対象降雨：1時間 62 mm
(10年確率降雨)



幹線内部の写真



幹線整備位置図

浸水対策事業（烏丸丸太町幹線）

令和7年8月に部分供用を開始し、8月25日に発生した京都地方気象台の観測史上最大の大雨（1時間に102ミリ）において、浸水被害の軽減効果を発揮した。

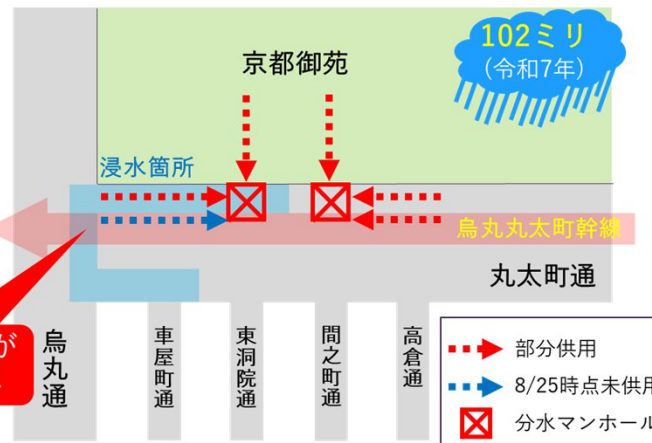
整備前（R4年7月）



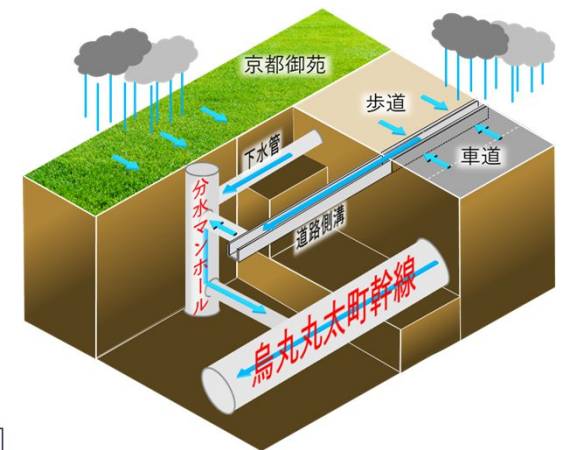
部分供用後（R7年8月）



全面供用
(R7年11月)



浸水の範囲が大幅に縮小



烏丸丸太町幹線内への雨水取込みイメージ

【久御山町】 淀川水系流域治水プロジェクト 完了事業概要

【事業名】 佐山排水機場施設更新事業

【経緯】

佐山排水区の最下流に位置する排水機場が、昭和50年度（1975年度）に完成後45年以上が経過し老朽化が進んでいることから、令和元年度に作成したストックマネジメント計画に基づき更新事業を実施。（京都府管理の1級河川古川を介して宇治川に排水している。）

【事業計画】

- ・ポンプ2基（1台あたり 揚水量 $V=1.43\text{m}^3/\text{s}$ ）

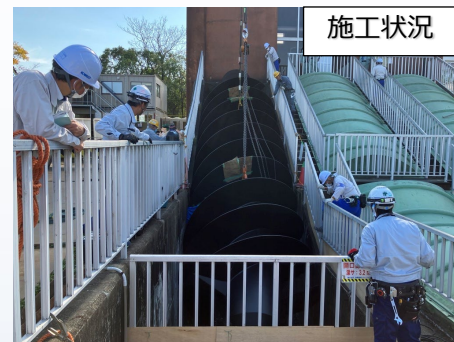
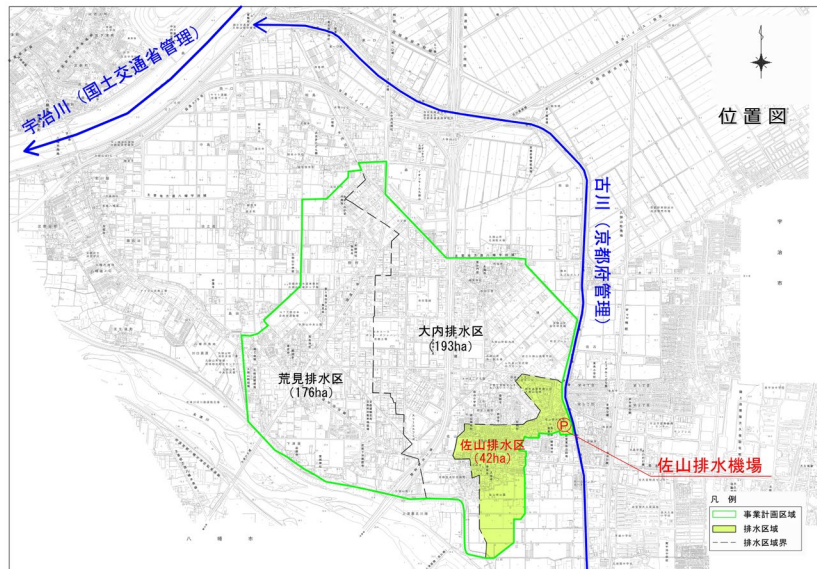
【事業内容】

- ・詳細設計（令和2年度）
 - ・第1期工事（令和3, 4年度）
事業費：354,811,600円
 - ・第2期工事（令和5, 6年度）
事業費：332,200,000円
- 計：687,011,600円

機械設備工事

φ2,500スクルーポンプ N=2台、ディーゼルエンジン
N=2台、減速機 N=2台、消音機 N=2台 他

電気設備工事、建築工事、建築電気工事 一式



琵琶湖分会

滋賀県、彦根市、野洲市
長浜市、栗東市、草津市

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

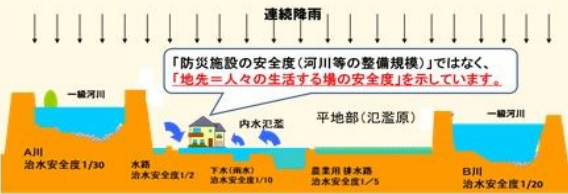
事業名：想定浸水深等（地先の安全度マップ）の設定、公表

滋賀県土木交通部
流域政策局

○流域治水対策を検討するための基礎情報として、滋賀県流域治水条例第8条に基づき、想定浸水深等（地先の安全度マップ）を公表し、おおむね5年ごとに更新する。

事業メニューの内容、イメージ

想定浸水深等（地先の安全度マップ）は、大河川の氾濫だけでなく、中小河川や身近な用水路等の氾濫も考慮した、より実現象に近い浸水リスク図である。



大きな川だけではなく、中小河川や身近な水路の氾濫も考慮しています。
→実現象に近い予測です。

※琵琶湖からの氾濫は考慮していません



事業メニューの実施事例

想定浸水深図の条件と用途

| 降雨確率 | 10年に一度 | 100年に一度 | 200年に一度 |
|-----------|---------------------|-------------------------|-------------|
| 雨の強さ | 最大50mm/hr | 最大109mm/hr | 最大131mm/hr |
| 24時間雨量 | 170mm/24hr | 529mm/24hr | 634mm/24hr |
| 気象予報用語 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 | |
| 人の受けるイメージ | ・滝のように降る(ゴーゴーと降り続く) | ・息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる | |
| 施策における用途 | 市街化区域への新規編入に係る判断指標 | 洪水浸水想定区域図の浸水リスク情報を補完 | 建築制限に係る判断指標 |

| 年度 | 進捗状況 | | | | |
|----------|------|--|------|-------|-----|
| | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| R7年度 | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 想定浸水深を公表および氾濫解析等 流域治水条例に基づき、令和2年3月に更新した「地先の安全度マップ」を継続して公表。 次回更新(令和8年6月予定)に向け、氾濫解析および図面作成を完了。 | | | |
| R8年度(予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 想定浸水深を公表および入力データの更新 流域治水条例に基づき、令和2年3月に更新した「地先の安全度マップ」を継続して公表。令和8年6月に更新予定。 ハザードマップ更新に必要なデータを市町に提供。 次々回更新に向けた準備(データ収集等)も実施。 | | | |
| R9年度(予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 想定浸水深を公表および入力データの更新 流域治水条例に基づき、令和8年6月に更新した「地先の安全度マップ」を継続して公表。 次々回更新に向けた準備(データ収集等)も実施。 | | | |

構成員 彦根市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：公共下水道事業による雨水管理計画の策定

彦根市

雨水管理総合計画の策定

- 当面・中期・長期にわたる、下水道による浸水対策を実施すべき区域の明確化。
- 目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定める。
- 下水道による浸水対策を計画的に進めることを目的として策定する。

事業メニューの内容、イメージ

- (1) 雨水管理方針の策定
- (2) 既存水路測量調査
- (3) 浸水シミュレーションの実施
- (4) 浸水要因分析と地域ごとの課題整理
- (5) 浸水シミュレーションの実施 (対策後)

事業メニューの実施事例

- ・ 雨水出水想定区域図の公表 (想定最大規模降雨)
- ・ 計画降雨浸水防止区域図の作成 (計画降雨)
- ・ 計画降雨・想定最大規模降雨の設定
- ・ 雨水管理総合計画策定

事業メニューの効果

- ・ 浸水被害箇所での浸水要因を検証することにより、対策を行う箇所の最も効果的な整備が可能となる。
- ・ 段階的対策計画に基づき施設計画を行うことにより財政計画と整合を図りながら、今優先すべき箇所を明確にし必要な浸水対策を実施する。
- ・ 近年発生するゲリラ豪雨等においては、ハード整備のみでは防止できないことからソフト対策を含めた対策を市民とともに実施する。

| 年度 | 進捗状況 | | | | |
|--------------|------|---|------|-------|-----|
| | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| R7年度 | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水管理総合計画策定 R7年度は、浸水シミュレーション(対策後)を実施。 | | | |
| R8年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水管理総合計画策定 | | | |
| R9年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水管理総合計画策定 | | | |

構成員 野洲市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

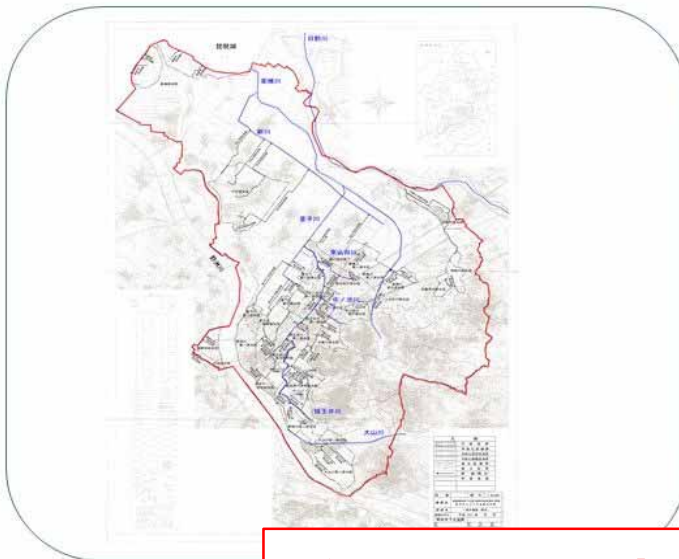
事業名：公共下水道事業による雨水管理総合計画の策定

野洲市

○事業の目的

下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準（整備目標やハード対策の整備率等）、当面・中期・長期の施設整備の方針等の基本的な事項を定める「雨水管理総合計画」を策定する。

事業メニューの内容・効果



事業メニューの実施事例

- ・現計画区域のみではなく市全域の内水浸水想定を実施し、対策を実施すべき区域とその優先度を評価する。（雨水管理方針）
- ・優先度が高い区域に対して当面、中期、長期の整備水準を設定し段階的な対策の計画を検討することで、安価かつ早期に整備可能な施設による効果的な浸水の低減を目指す。（段階的対策検討）
- ・下水道部局に留まらず、市内の他部局や県、国と連携することで、下水道部局の役割の明確化に加え、内外水一体の対策のような効果的な浸水対策の実現を目指す。（流域治水）

令和7年度完了

| 年度 | 進捗状況 | | | | |
|--------------|------|--|------|-------|-----|
| | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| R7年度 | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水管理総合計画の策定、内水ハザードマップの公表 下水道による浸水を実施すべき区域や目標とする整備水準や、当面、中期、長期の整備方針等を定め雨水管理総合計画を策定する。内水ハザードマップを公表する。 | | | |
| R8年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | | | | |
| R9年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | | | | |

構成員 長浜市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

・事業名：雨水出水浸水想定区域図の作成

長浜市

○ 複数外力による多層的な浸水リスクを想定し図面を作成する。

事業メニューの内容、イメージ

【内水浸水想定を行うための指針の作成】

- (1) 排水区域内において一時的に大量の降雨が生じた場合に、下水道その他の排水施設又は河川その他の公共の水域に雨水を排水できないことにより発生する内水による浸水を対象とする。
- (2) 市街地における浸水のメカニズムの検討
- (3) 浸水想定手法の選定
- (4) 浸水シミュレーション
- (5) キャリブレーションと実測調査の検討

事業メニューの効果

○水災害に強い防災まちづくりに必要な情報発信の強化と、住民等の防災意識の向上
浸水想定区域図の策定

| 年度 | 進捗状況 | | | | |
|--------------|---------|--------------------|------|-------|-----|
| | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| R7年度 | 実施内容 | キャリブレーション・シミュレーション | | | |
| | 設計業務の実施 | | | | |
| R8年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水出水浸水想定区域図作成 完了 | | | |
| R8年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水出水浸水想定区域図作成 完了 | | | |

構成員 栗東市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：雨水出水浸水想定区域図の作成

栗東市

- 水防法14条の2に規定される想定最大規模降雨の内水浸水想定区域である雨水出水浸水想定区域を指定・公表する

事業メニューの内容、イメージ



想定最大規模の雨が降った場合、内水氾濫によって、どの場所がどれぐらいの浸水深となるのかが把握できる

事業メニューの効果

- 浸水想定情報を住民に公表・周知することにより、被害低減対策を促進することができる

| 年度 | 進捗状況 | | | | |
|--------------|------|-----------------------------|------|-------|-----|
| | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| R7年度 | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水出水浸水想定区域図の作成・公表、地域防災計画に反映 | | | |
| R8年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水出水浸水想定区域図を総合防災マップに反映 | | | |
| R9年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | | | | |

構成員 草津市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：雨水出水浸水想定区域図の作成

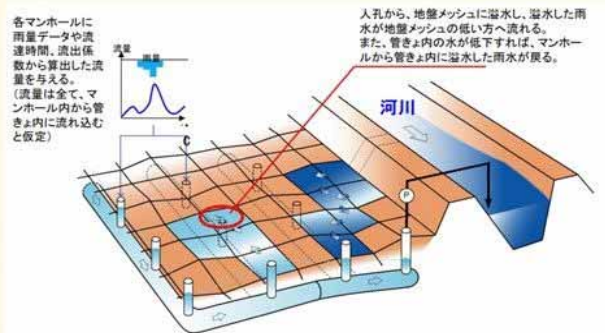
草津市

○ 流域治水関連法の改正により必要となった、想定最大規模降雨に対する雨水出水浸水想定区域図の作成、公表を行う。

事業メニューの内容、イメージ



参考：草津市洪水・内水ハザードマップ



「流出解析モデル活用マニュアル、2017年3月、(公財)日本下水道新技術機構」

図 3-4 浸水シミュレーション(汎用解析モデル)の概念図

事業メニューの効果

・ 水害リスク情報の空白地帯の解消を図り、内水氾濫発生時の円滑かつ迅速な避難を確保、また、浸水を防止することにより被害の軽減を図る。

| 年度 | 進捗状況 | | | | |
|--------------|------|---------------------------------------|------|-------|-----|
| R7年度 | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | 雨水出水浸水想定区域図の作成 シミュレーション、浸水想定区域図の作成 | | | |
| R8年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | | | | |
| R9年度 (予定) | 進捗度合 | ①準備段階 | ②実施中 | ③概ね完了 | ④完了 |
| | 実施内容 | | | | |

木津川上流分会

伊賀市、名張市、笠置町
山添村、曾爾村、宇陀市

R7取組事例 (伊賀市)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:伊賀市】

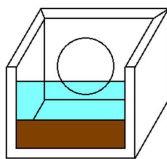
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔 田んぼダムの整備 〕

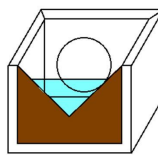
【主な整備内容】

水田の落水口に流出量を抑制するための排水調整板を設置することで、雨水貯留能力を人為的に高め、大雨時に水路や河川の水位の急上昇を抑えることで、下流域の湛水被害リスクの低減を図る。
令和6年度から3組織が実施。

通常の落水口
そのまま河川に流れる。



排水調整板を設置
流出量を抑制できる。



取組状況の様子



参考



田んぼダム未実施

田んぼダム実施

実施主体
担当部署

農村整備課

R7年度
田んぼダム進捗状況:○
22ha実施見込

取組概要

水田の落水口に流出量を抑制するための排水調整板を設置をおこなう。

取組内容の工夫点・課題・留意点

課題として排水調整板を設置し雨水貯留量が増えることにより、畦畔崩落の被害の恐れがあるため、取り組み組織が少なく田んぼダムの効果が高まらない。

取組による効果

大雨時に水路や河川の水位の急上昇を抑えることで、下流域の湛水被害リスクの低減が図れる。

活用可能な制度等

多面的機能支払交付金事業の加算措置「水田の雨水貯留機能の強化(田んぼダム)を推進活動」

1期目 10a当:400円の加算
2期目以降 10a当:300円の加算

R7取組事例 (名張市)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:名張市】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
(小中学校への出前講座の実施)

『名張市総合防災訓練(地域訓練)において市内全小中学校と連携した訓練を実施』

【実施状況】

日時 令和7年11月15日(土) 午前9時から
場所 市内全域
参加者 約14,000人



実施主体
担当部署

名張市
なばりの未来創造部
危機管理室

R7年度
進捗状況:○

取組概要

名張市総合防災訓練に市内全ての小中学生が参加しました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

教育委員会と連携することで、市内全ての小中学校の協力を得ることができました。また、子どもが訓練に参加することで保護者の参加も誘導することができました。

取組による効果

児童・生徒が避難所運営の企画・運営に参画することで、「自らの安全確保を前提に地域に貢献する」行動観が醸成。持続可能な防災体制の基盤を強化することができました。

活用可能な制度等

なし

R7取組事例 (笠置町)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:笠置町】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
〔 防災訓練の実施 〕

『町内の自主防災組織と町の共催による防災訓練の実施』



初期消火訓練



防災組織醸成訓練

| | | |
|--------------|----------|----------------|
| 実施主体 担当部署 | 笠置町総務財政課 | R7年度 進捗状況:○ |
|--------------|----------|----------------|

取組概要

自主防災組織の防災力向上と防災関係機関との連携醸成を主な目的として、町との共催による防災訓練を実施。

- ・初期消火訓練
- ・防災組織醸成訓練 など

取組内容の工夫点・課題・留意点

消防機関や郵便局の協力を得て、実際に防災資機材を駆使した火災や土砂災害等を想定した訓練をおこなうことで、知識の醸成、技術力向上、関係機関との連携強化を図る。

取組による効果

地域全体の防災意識向上に繋がる。

活用可能な制度等

特になし。

R7取組事例 (山添村)

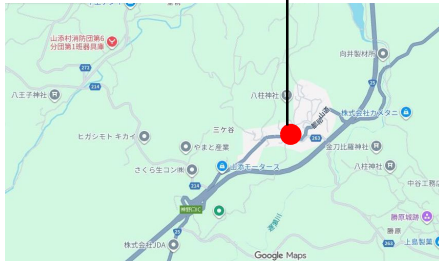
■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:山添村】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
(防災訓練の実施)

『関係機関や消防署、山添村消防団、日本赤十字社と共同で地区防災訓練を実施』

【実施状況】

開催場所
山添村大字三ヶ谷
豊中央公民館



実施主体
担当部署

山添村、山添消防署、
自衛隊、山添村消防
団、日本赤十字奉仕
団山添分会

R7年度
進捗状況:○

取組概要

大雨や地震を想定し、避難所までの避難訓練を実施。また、避難所ではAED講習や消火器訓練、土砂災害体験(VR)、日本赤十字奉仕団による炊き出し訓練を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

地域を分けて年1回開催。今年度は、自衛隊の参加、VR体験、消防署や赤十字社との協力を得て、訓練を行った。

取組による効果

地域住民による防災意識の向上や関心をつかむ訓練となった。

活用可能な制度等

なし。

R7取組事例 (曾爾村)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:曾爾村】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
〔住民参加型の避難訓練の実施〕

『村民参加型の避難訓練を実施』

【実施状況】



避難訓練の様子



段ボールベット組み立て講習の様子



土のう作製、土のう積みの様子

| | | |
|--------------|--------|----------------|
| 実施主体 担当部署 | 曾爾村総務課 | R7年度 進捗状況:○ |
|--------------|--------|----------------|

取組概要

第1部として地震による建物の倒壊、土砂災害、水害を想定し、最寄りの指定避難所まで避難を行いました。

第2部は、役場職員による段ボールベットの組み立て講習を村民を対象に実施。また、曾爾村消防団員による土のう作製及び積み方を自主防災組織向けに訓練を実施しました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

避難訓練チラシを全戸に配布を行うとともに、各自治会を通じて村民への周知を行い、訓練周知を実施しました。また、第1部の避難訓練では要支援者宅へ訪問し、安否確認も実施。

取組による効果

村民一人ひとりの防火意識の向上に努めることができた。またより具体的な訓練を行うことにより、地域防災力の向上に寄与することができた。

活用可能な制度等

特になし

猪名川分会

豊中市、尼崎市、大阪府

水害から命を守るわたしの防災行動計画

～豊中市でマイ・タイムライン作成講座を開催しました～

R7. 12. 23

○猪名川河川事務所は、豊中市と共同で、「マイ・タイムライン作成講座」を開催しました。
○猪名川河川レンジャーで防災士でもある志築さんを講師として、地震災害、豪雨のメカニズム、災害への備えやハザードマップの見方などを教えて頂きながら、“豊中市洪水ハザードマップ”や“猪名川河川事務所版マイ・タイムライン作成シート”を活用したマイ・タイムラインの作成を行いました。

- ◆日時：令和7年12月18日（木）18:30～20:00
- ◆場所：豊中市庄内コラボセンター
- ◆参加者：12名
- ◆内容：講義「豊中市の災害想定からマイ・タイムラインを作成する」
マイ・タイムライン作成講座
豊中市マイ・タイムライン（デジタル版）の紹介



猪名川河川事務所版 マイ・タイムラインシート

豊中市 マイ・タイムライン（紹介チラシ）



- ◆参加者からの感想
- ・マイタイムラインを実際に作ってみて、理解が深まりました。あと、川の水位を確認できるサイトが知れて良かったです。
 - ・住んでいる所が浸水区域に入っており、気になって受講しました。気になっている事もお話下さって勉強になりました。

【問合せ先】
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2丁目2番39号
TEL 072-751-1111

～尼崎市でマイ・タイムライン作成講座を開催しました～

- 猪名川河川事務所は、尼崎市と共同で、「マイ・タイムライン作成講座」を開催しました。
- 気象予報士で流域治水アンバサダーでもある澤さんを講師として、近年の気象災害と情報の活用、災害への備えやハザードマップの見方などを教えて頂きながら、“尼崎市洪水ハザードマップ”や“猪名川河川事務所版マイ・タイムライン作成シート”を活用したマイ・タイムラインの作成を行いました。
- 今後も自治体と連携して講習会を継続していき、地域の安全・安心の向上のための取り組みを進めていきます。

- ◆日 時：令和8年2月7日（土）14:00～16:00
- ◆場 所：園田東生涯学習プラザ（兵庫県尼崎市）
- ◆参加者：30名
- ◆内 容：講義「近年の気象災害と情報の活用について」
マイ・タイムライン作成講座



澤麻美 気象キャスター

松本眞 尼崎市長

嶋本好晴 事務所長

猪名川河川事務所版 マイ・タイムラインシート



市長にもサポートいただきました



作成したマイ・タイムラインの発表



マイ・タイムライン作成の様子

- ◆参加者からの感想
- ・避難に向けた具体的な行動が可視化できて、小さなお子さんや高齢者にも大変わかりやすい。
- ・準備するものや行動をあらかじめきめておくことで、落ち着いて行動できる。
- ・ご近所の方にも伝えたい。

【問合せ先】
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2丁目2番39号
TEL 072-751-1111



余野川流域勉強会(令和8年3月10日実施)

猪名川河川事務所の考え

- ✓ 猪名川流域において**水害リスクが存在**するうえ、気候変動の影響で、今後降水量はさらに増大することが懸念⇒**新たな流域治水の取組みが必要**
- ✓ 猪名川流域では昭和57年から現在も、「猪名川流域整備計画」(総合治水)に基づき流域治水に取り組んでいが、**計画は古く実態に沿わない点や設定根拠が不明ところがある**など問題点が多い
- ✓ 流域自治体へのヒアリングの結果、猪名川流域全体で特定都市河川指定の合意形成には時間を要すると予想
- ✓ **新たな流域治水計画を新たに流域みんなで協議する場と信頼関係を構築することが必要**
- ✓ **具体的な治水対策目標を立て、それらを法的根拠に基づき執行する特定都市河川に切り替え、新たな流域水害対策を実施することが必要**
- ✓ **小流域単位等で先行も指定できるところは積極的に検討を進めて行くことが必要⇒余野川流域での指定に向けた検討が有用と判断**

大阪府の特定都市河川指定に向けた方針

- ✓ **大阪府が管理している河川において、1/30降雨(整備計画規模)で床上浸水が発生するリスクがある河川は河道改修を急ぐ方針としている**
- ✓ **余野川は上記の水害リスクのある河川で特定都市河川化により円滑な河川改修事業進捗を目指している**



猪名川流域では余野川流域で特定都市河川の指定を検討することを議論スタート

- ✓ (メンバー)猪名川河川事務所、大阪府、池田市、箕面市、豊能町

